取扱説明書

この取扱説明書は大切に保管しておいてください。

※写真は水槽イメージ撮影用に強化された台を使用しております。
水槽を設置する場合は必ず水槽専用台をご使用ください。

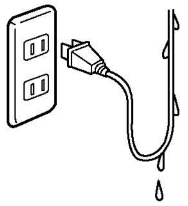
重 要　観賞魚を飼育されるお客様へ

○大切な飼育魚のためにも、必ず一日一度は、フィルターや飼育器具が正常に作動しているか確認を行ってください。
○本製品をご使用される前に、必ず本書をよくお読みください。

⚠ 警　告

○安全にお使いいただくために必ずお読みください。

●電源はAC100V（一般家庭用電源）を守ってください。また、電源はタコ足配線にならないようにしてください。正常作動の妨げ（蛍光ランプのチラツキやフィルター流量の低下など）になったり、火災や感電事故の原因になります。
●電源プラグをコンセントに差し込むときや、コンセントから抜くときは、ぬれた手で行わないでください。また、コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。感電事故や断線の原因になります。
●電源プラグがコンセントに正しく差し込まれているか、また、ほこりなど積もっていないか定期的に点検してください。放置すると、感電やトラッキング現象による火災の原因につながります。
●水槽よりも低い位置の電源コンセントは使用しないでください。やむを得ず水槽より低い位置でご使用になる場合は、右図のように必ず水滴だまりを設けて、水滴がコンセントに流れ込まないようにしてください。



●水替えなどのお手入れの際に、水の入った水槽に手を入れるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電事故の原因になることがあります。
●本製品は屋内で使用する観賞魚用です。それ以外の用途では使用しないでください。また、屋内であっても風呂場や洗面所など湿度の高い場所では使用しないでください。感電や故障の原因になることがあります。
●水槽周辺が極端な温度差になる場所には、設置しないでください。水槽周辺の温度が、10℃～30℃の範囲内の場所に設置してください。水槽が割れる原因になります。また、魚の飼育に適した水温も維持できません。
●万一機器から煙が出ていたり、異臭や異音がするなどの異常があるときは、ただちにコンセントから電源プラグを抜いて、使用を中止してください。その後、お買い求めになった販売店、または当社までご連絡ください。異常状態でのご使用は、火災や故障の原因になります。
●本書で指示のない箇所を分解したり、修理、改造は絶対にしないでください。けがや故障、火災の原因になることがあります。（修理はお買い求めの販売店、または当社にご連絡ください）

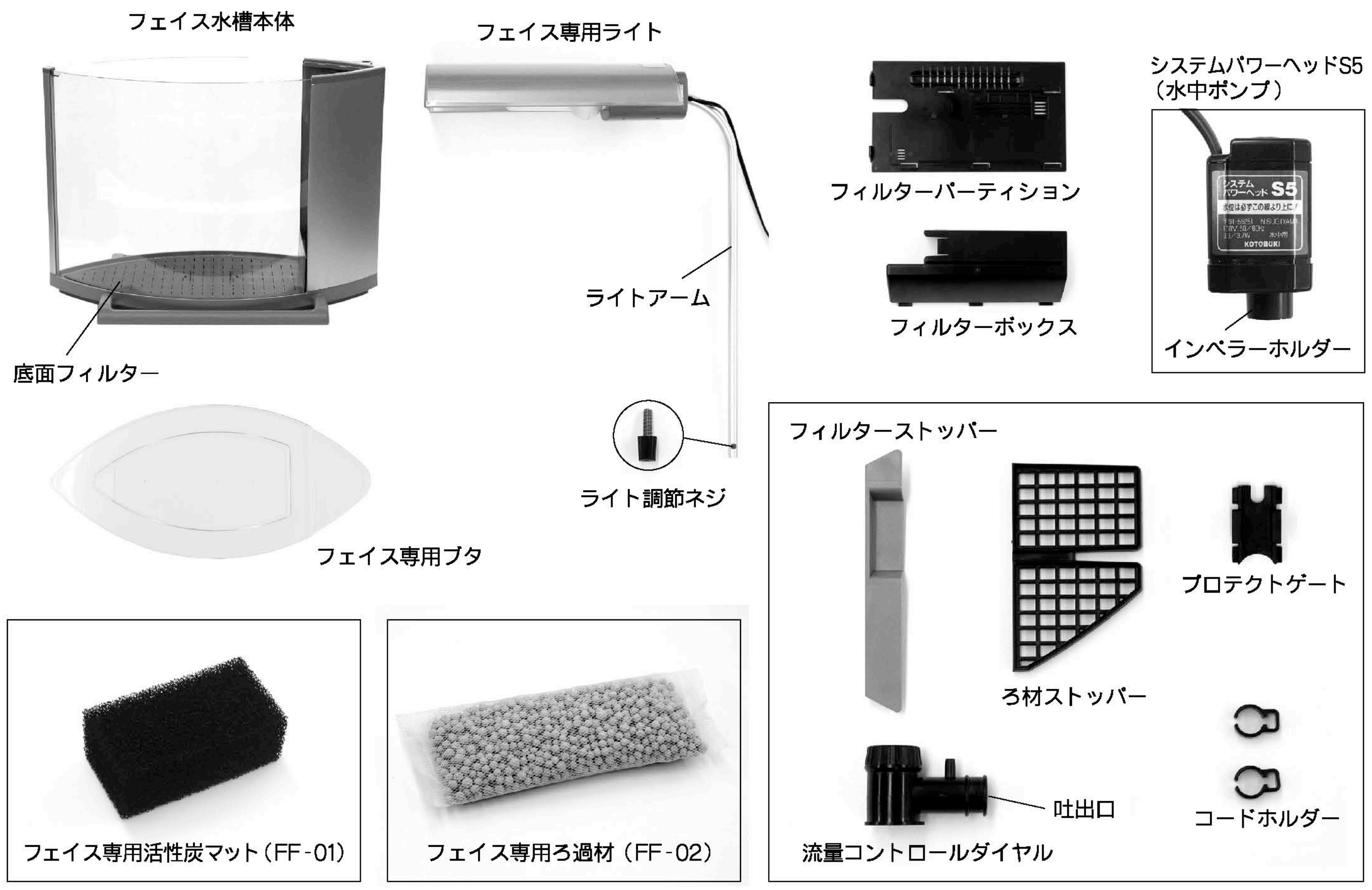
⚠ 注　意

○安全にお使いいただくために必ずお読みください。

●電源コードを無理に曲げたり、電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。また、電源コードは、出荷時の束ねた状態では使用しないでください。コードが熱を持ち火災や故障の原因になります。
●本製品の上に物をのせたり、ライトを布などでふさいだりしないでください。破損したり、機器が過熱して、火災の原因になることがあります。
●屋外での使用や屋内であっても直射日光の当たる場所での使用は絶対にしないでください。また、お手入れなどの際に、直射日光の当たる場所で乾かしたりしないでください。水槽が割れる原因になります。
●本製品は40℃以上のお湯では使用しないでください。また、ストーブなどの暖房器具の近くでも使用しないでください。本体や機器が変形して、水槽の割れや機器の故障の原因になります。
●水槽に海水または人工海水を入れてご使用になる場合は、週に一度は電源プラグやコンセントのお手入れを行ってください。また、電源プラグやライトに海水がかからないように注意し、万一塩分が付着しているときは、ただちにきれいに拭き取ってください。塩分が付着した状態で放置すると、火災や漏電事故の原因になります。
●引火性のもの（シンナー、ガソリン、ベンジンなど）の近くには置かないでください。爆発や火災の原因になります。
●お手入れの際に水槽の中で砂利をかき混ぜたり、洗ったりしないでください。また、砂利などを取り出す際にガラス面を傷つけないように注意してください。ガラス面に傷が入ると水槽が割れる原因になります。（特にセラミックの砂利は、ガラスに傷が入りやすいのでご注意ください）
●お手入れの際には、シンナーやベンジン、洗剤などの薬品を使用しないでください。シリコンの損傷やフレーム枠の変形による水漏れの原因になります。また、シンナーやベンジン、洗剤などの薬品は、本製品だけでなく、魚や水草にも有害です。
●本製品は、傾いた台や強度の弱い棚などの上には置かないでください。水槽の割れや転倒事故の原因になります。必ず、当社水槽専用台をご使用ください。
●本製品の組み立て、取り付け、お手入れの仕方などは、本書の手順および記載内容にしたがって安全に行なってください。
●他の関連機器を組み合わせて使用する場合は、その機器の「取扱説明書」の指示にしたがってください。
●本製品や本書の記載内容は、生体の死亡や病気、水草の枯れなどが起きないことを保証するものではありませんので、あらかじめご承知おきください。
●本製品や他の関連機器に貼り付けてある「警告」「注意」などのラベルをはがさないでください。
●間接的に警告、または注意事項に相当する条件下でのご使用は止めてください。
●本書の記載内容についてご不明な点がありましたらお手数ですが当社までお問い合わせください。
●本製品を譲渡されるときは、次の所有者に本書を必ず添付して譲渡してください。
●本書を紛失、または破損したときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

○各部の名称

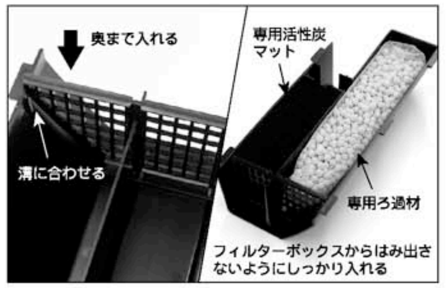
※組み立てを始める前にパーツがすべてそろっているか確認してください。



○組み立て方

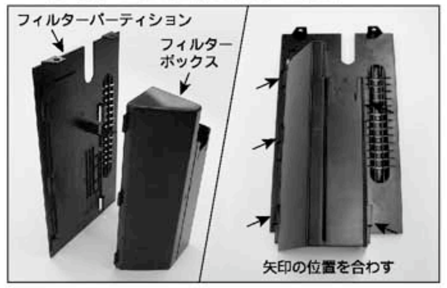
※本製品はガラス・プラスチック製です。落とすと割れる場合がありますので、取り扱いには注意してください。

1）フィルターボックスにろ材を入れます。



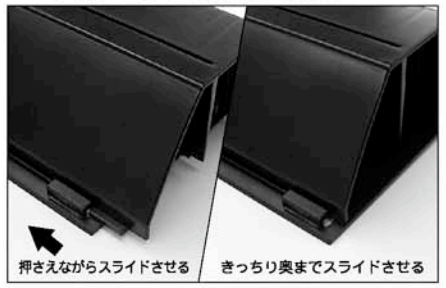
フィルターボックスにろ材ストッパーを取り付け、専用活性炭マットと専用ろ過材を入れます。（フィルターボックスからはみ出さないようにしっかり入ます。）

2）フィルターボックスをフィルターパーティションに取り付けます。



フィルターパーティションにフィルターボックスのツメ（矢印の位置）を合わせます。

3）フィルターボックスをフィルターパーティションに取り付けます。

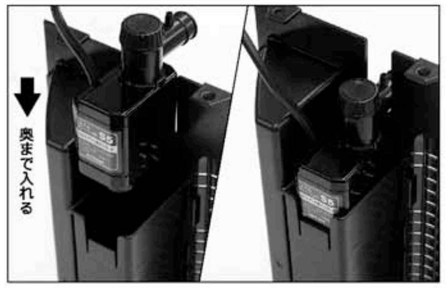


フィルターボックスをフィルターパーティションに押さえ付けながら、矢印の方向にスライドさせて取り付けます。

4）システムパワーヘッドS5に流量コントロールダイヤルを取り付けます。

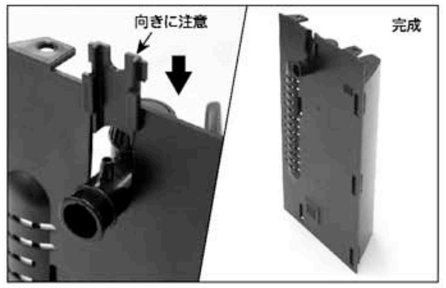
システムパワーヘッドS5に流量コントロールダイヤルを左上の写真の向きに差し込み、右上の写真のように90度回して取り付けます。

5）水中ポンプを接続します。



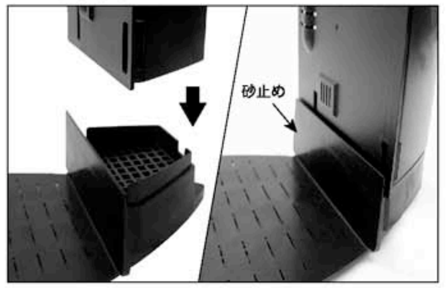
システムパワーヘッドS5を先程組み立てたフィルターボックスとフィルターパーティションに取り付けます。

6）フィルター部を完成させます。



フィルターパーティションにプロテクトゲートを取り付け、フィルター部を完成させます。（プロテクトゲートの向きに注意してください。）

7）底面フィルターにフィルター部を接続します。



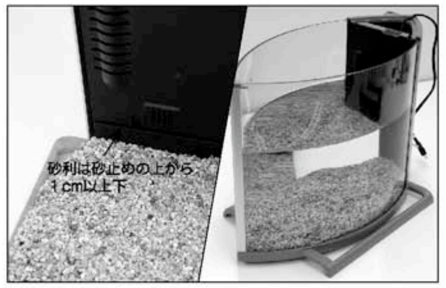
フィルター部を水槽にセットされている底面フィルターに接続します。

※上記の写真は接続個所を説明するために水槽より外してありますが、水槽にセットされている状態のままフィルター部を接続してください。

8）フィルターストッパーを取り付けます。

水槽上フレームにある穴とフィルター部にある穴を合わせてフィルターストッパーで固定します。

9）水槽レイアウトを行います。



底面フィルターに砂利を入れ（フェイスご使用上の注意の注２・注３参照）水槽に水を６分目程度入れた状態で水草などのレイアウトを行います。

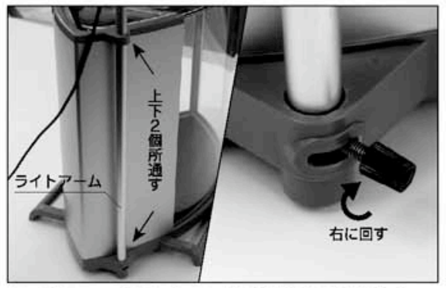
10）水槽に水をたします。

レイアウトが完成したら最低水位線より上まで水を入れます。（日常の使用においても、必ず最低水位線より上まで水を入れてご使用ください。）

11）専用ブタを取り付けます。

水槽内の水の蒸発や、照明器具にしぶきが掛からないように専用ブタを取り付けます。水中ポンプのコードや関連器具のコード類を上記のように通します。

12）水槽にライトを取り付けます。



ライトアームからライト調節ネジを外し、フェイス水槽本体に専用ライトを取り付け、ライト調節ネジを締め、専用ライトを固定します。

13）コードホルダーの取り付け。

専用ライトの電源コードをライトアームにコードホルダーで止めます。

14）電源を入れます。

水位が最低水位線以上になっていることを確認し、システムパワーヘッドS5の電源プラグを専用ライトのコンセントに差し込みます。最後に専用ライトの電源プラグをコンセントに差し込みます。（コンセントを差し込むとすぐにポンプが動きます。）

○フェイスご使用上の注意

⚠

注１：フェイスをご使用の際は、水位が最低水位線以下にならないようにご注意ください。異音や故障の原因になります。

注２：フェイスに砂利を入れられる場合は、ろ過材の交換時などフィルターを取り外した際に、フィルター側に砂利が入らないよう底面フィルターの砂止めの上から1cm以上下になるようにしてください。フィルターを取り付ける際に、砂利が噛み、フィルターが正常に取り付けられなくなる場合があります。

注３：底面フィルターから吸い上げてしまうような粒の細かい砂利（2mm以下）は使用しないでください。粒の細かい砂利が底面フィルターの目から吸い込まれ、ポンプインペラー部に詰まりポンプが停止する恐れがあります。もし、ご使用になる場合は、必ず底面フィルターの上にウールマットなどを敷いてご使用ください。また、粒の大きな砂利でもかけらなどが吸い上げられる可能性がありますので、ウールマットなどを敷いてご使用されることをお薦めします。

注４：海水または人工海水でご使用の際は、フェイス専用ライトのコンセントは絶対に使用しないでください。

注５：フェイスをご使用の際は、必ず専用ブタを取り付けて使用してください。水槽の水が蒸発し、フェイス専用ライトの故障や火災の原因になります。

注６：フェイス水槽内に電源コードなどのある水槽関連用品を設置される場合は、右の写真のようにコードをプロテクトゲートの上を通してシステムパワーヘッドS5のコードと同じように水槽端のコード通しを通します。

○フェイス専用ライト

※照明は朝起きたら点灯させ、夜になったら消灯するのが魚や水草には理想的です。（1日10～12時間）
一日中点灯した状態や、日によってまちまちというのはあまり良くありません。

○日常の照明の点灯と消灯は、専用ライト横のスイッチで行ってください。

⚠

●点灯直後は暗く、約30秒で明るくなります。また、点灯後、約20分間は明るさや光色が若干変化します。
●海水または人工海水でご使用の際は、フェイス専用ライトのコンセントは絶対に使用しないでください。また、専用ライトのコンセントに貼ってあるシールは剥がさないでください。
●フェイス専用ライトのコンセントは２口ありますが、合計で400Wまでの容量です。400W以上の機器は絶対に接続しないでください。ショートして火災の原因になります。
●フェイス専用ライトのコンセントは水槽関連機器専用です。家電製品などは絶対に接続しないでください。故障や火災の原因になります。
●電源コードは出荷時の束ねた状態のまま使用しないでください。また、無理に曲げたり、重いものを乗せたりしないでください。漏電や火災の原因になります。

■蛍光ランプの交換

1）専用ライトのスイッチを［OFF］にして、電源プラグをコンセントから抜きます。
2）ライト調節ネジをゆるめて専用ライトを横にスライドさせ、蛍光ランプを回して外します。ガラス管部分を持たず、蛍光ランプの根元を持って回してください。（専用ライトをスライドさせるスペースが無い場合は、調節ネジを外すと両方向に回転します。）
3）蛍光ランプを新品に交換します。（蛍光灯のランプは半年もたつと光量が半減してしまいます。半年を目安に 交換しましょう。）

⚠

●電源プラグをコンセントに差し込むときや、コンセントから抜くときは、ぬれた手で行わないでください。また、コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。
●照明を消灯した直後の蛍光ランプは熱くなっています。十分に冷えてから交換を行ってください。
●他メーカーのランプや容量の異なるランプは、絶対に使用しないでください。熱による本体の変形や故障、火災の原因になります。（右の写真の交換球をご使用ください。）

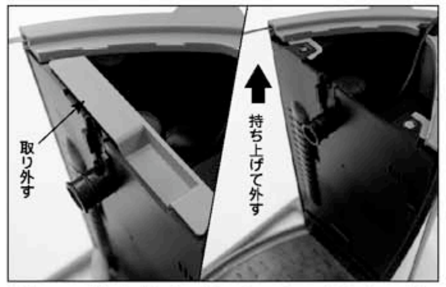
○お手入れの仕方

●水替えなどのお手入れの際に、水の入った水槽に手を入れるときは、必ず水槽関連機器すべての電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電事故の原因になることがあります。
●電源プラグをコンセントに差し込むときや、コンセントから抜くときは、ぬれた手で行わないでください。また、コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。感電事故や断線の原因になります。
●お手入れの際に水槽の中で砂利をかき混ぜたり、洗ったりしないでください。また、砂利などを取り出す際にガラス面を傷つけないように注意してください。ガラス面に傷が入ると水槽が割れる原因になります。
●水槽のお手入れの際には、防水のためのシリコン塗布部をブラシなどで強くこすらないでください。シリコンの損傷による水漏れの原因になります。
●水槽にコケが発生した場合は、そのまま放置しないでください。そのまま放置されますと、コケがガラスとシリコンの間に侵入し、シリコンが剥離され水漏れの原因になります。
●システムパワーヘッドS5は消耗部品ですので1年を目安に交換してください。
●水槽を洗って乾かす場合は、絶対に直射日光に当てないでください。水槽が割れる原因になります。

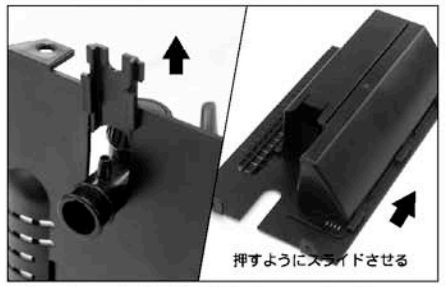
■フィルターのお手入れ&ろ過材の交換 ※同時にシステムパワーヘッドS5のお手入れを行われることをお薦めします。

○専用活性炭マットは、活性炭の効果が低下してきますので1カ月に1度は交換してください。
○専用ろ過材は、目詰まりによるろ過能力の低下を防ぐために、1カ月に1度は飼育水をバケツに汲み取ったものか、カルキを抜いた水で軽くすすぎ洗いをし、半年を目安に交換してください。
○飼育環境により多少異なりますが、安定したろ過能力を維持するため定期的にろ材の洗浄、交換を行ってください。
○海水でご使用の場合は、塩分が付着しますのでこまめに掃除を行ってください。塩分の付着をそのままにしておくと故障の原因になります。
○ろ過材の交換などでフィルターを取り外される際は、水槽内の観賞魚などを飼育水を汲み取ったバケツなどに移されることをお薦めします。
◆フィルターを持ち上げた際に、汚濁した水が水槽内にこぼれ観賞魚などに悪影響をおよぼす場合があります。
◆フィルターをセットする際に、観賞魚などがフィルター部分に進入してしまうことがあります。

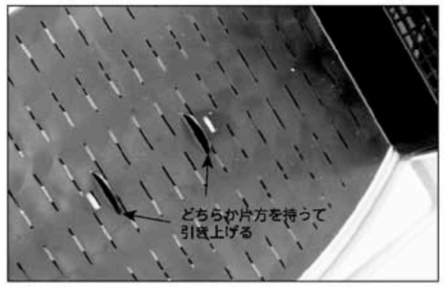
○以下の手順でフィルターのお手入れまたはろ過材の交換を行ってください。
1）専用ライトの電源プラグをコンセントから抜きます。
2）システムパワーヘッドS5の電源プラグをコンセントから抜きます。（水槽関連用品をご使用の場合は、その電源プラグも抜いてください。）



3）ライト調節ネジをゆるめ、専用ライトを横にスライドさせ、専用ブタとフィルターストッパーを外し、フィルターを取り外します。（専用ライトをスライドさせるスペースが無い場合は、調節ネジを外すと両方向に回転します。）



4）プロテクトゲートとシステムパワーヘッドS5を取り外し、フィルターボックスを矢印の方向へスライドさせて取り外します。
フィルターのお手入れやろ材の交換を行ってください。



5）底面フィルターを外される際は、底砂を取り除いてから、突起部分を持ち上げて外してください。

6）お手入れが終わりましたら、組み立て方を参照し、元通り組み立ててください。

●フィルターをフェイス水槽本体にセットする際に、観賞魚などがフィルター側に残らないように注意してください。
●飼育水や使用しているろ過材には、ろ過バクテリアが棲息しています。ろ過能力の低下や急激な水質の変化を起こさないために、水替えとろ過材の交換は同時に行わないでください。また、ろ過材を洗う際も飼育水をバケツに汲み取ったものか、カルキを抜いた水を使用されることをお薦めします。
●有益なろ過バクテリアを失わないために専用活性炭マットと専用ろ過材を1度に交換しないようにしてください。

■海水でご使用の場合

○海水または人工海水でご使用の場合は、水槽上部や専用ブタの縁などに塩分が付着しやすいので、こまめにお手入れをしてください。
○海水または人工海水でご使用の場合は、システムパワーヘッドS5（水中ポンプ）の寿命が淡水での使用時にくらべると極端に短くなることがあります。早めの交換をお薦めします。

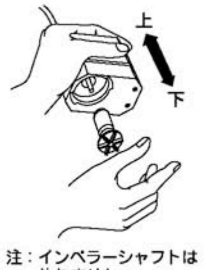
●海水または人工海水でご使用の場合は、危険防止の為、塩分の付着に注意し、早めの清掃と消耗部品の交換を行ってください。塩分は電気を通します。
●海水または人工海水でご使用の際は、専用ライトのコンセントは絶対に使用しないでください。また、専用ライトのコンセントに貼ってあるシールは剥がさないでください。

■システムパワーヘッドS5のお手入れ

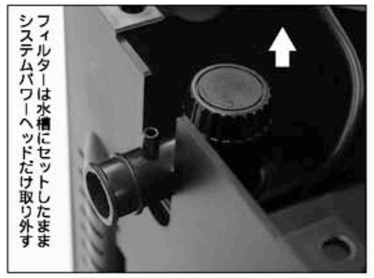
○月に一度はシステムパワーヘッドS5のお手入れをしてください。
1）専用ライトの電源プラグをコンセントから抜きます。
2）システムパワーヘッドS5の電源プラグをコンセントから抜きます。（水槽関連機器をご使用の場合は、その電源プラグも抜いてください。）

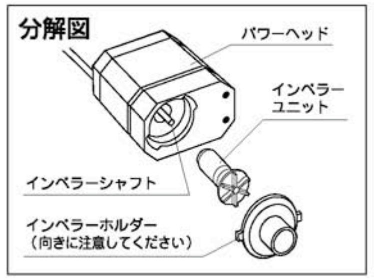
●電源プラグを水槽内に落としたり、ぬらさないように注意してください。
●電源プラグをコンセントに差し込むときや、コンセントから抜くときは、ぬれた手で行わないでください。また、コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。感電事故や断線の原因になります。

3）ライト調節ネジをゆるめて専用ライトを横にスライドさせ、専用ブタとプロテクトゲートを外し、フィルターを押さえてシステムパワーヘッドS5を取り外します。（専用ライトをスライドさせるスペースが無い場合は、調節ネジを外すと両方向に回転します。）
4）流量コントロールダイヤルを組み立て方と逆の順番で外し（組み立て方参照）、パワーヘッド底面のインペラーホルダーを左に回して取り外します。
5）右図のように、本体をしっかり持ち上下に軽く振って、インペラーユニットを取り出します。（取り出し難い場合は、ピンセットなどを使ってつまんで取り出してください。）
6）水やお湯の中で、パイプブラシなどを使って各部品を掃除してください。
（特にインペラーユニットなどに付着したぬめりや異物は、きれいに取り除いてください。汚れたまま使用を続けられるとポンプの故障の原因になります。）
7）お手入れが終わりましたら、元通り組み立ててください。



注：インペラーシャフトは外れません。





⚠ システムパワーヘッドS5が停止している場合は

◆システムパワーヘッドS5は、マグネット方式によるいたって簡単な構造ですので、故障することはほとんどありません。システムパワーヘッドS5が停止している場合は上記の手順でパワーヘッドの掃除、またはインペラーユニットの交換を行ってください。

●ご使用中にシステムパワーヘッドS5から「カタカタ」と音がしたり、フィルターやインペラーユニットを掃除しても流量が少ない場合は寿命です。海水または人工海水でご使用の場合は、淡水使用時よりも磨耗が早くなります（約6ヶ月間で寿命）ので、早めに交換するようにしてください。
●ゴミや砂利がポンプに吸い上げられ、モーターの回転をゆるめたり、止めたりする場合がありますのでシステムパワーヘッドS5が動いているか、吐出口から水が送り出されているかなど1日1度は確認するようにしてください。

※お客様の確認ミスやお手入れの不備、誤った使用方法によるポンプ停止につきましては、当社では保証いたし兼ねますのでご了承ください。

○熱帯魚を飼育される方へ… 熱帯魚を飼育される場合は保温器具が必要です！

保温器具をご使用の際は、保温器具に付属されている取扱説明書をよく読んで使用してください。

●ヒーターの特性や性能により、設置場所や設置方法によっては水温が設定温度より低くなったり、大きな誤差が出る場合があります。また、水温が上がるのに時間がかかるものもありますので、付属されている取扱説明書をよく読んで使用してください。

※フェイス水槽内に設置される場合は、『フェイスご使用上の注意』注6を参照し、設置を行ってください。

■保温器具の種類 ※観賞魚用保温器具には色々なタイプがありますが、現在市販されているもので広く使用されているものは3タイプあります。

◆ヒーターとは、冬場などに水槽内の水温が下がらないように暖めるためのもので、サーモスタットに接続して水温コントロールするタイプとヒーターだけで固定水温を自動調節するオートヒータータイプがあります。（ヒーターには、水温を下げる機能はありません。）
◆サーモスタットとは、センサーを水槽内に設置することにより水温を感知し、サーモスタットの設定した水温より水温が低い場合は、接続したヒーターを加熱させ設定した水温になるようにヒーターをコントロールするものです。また、設定水温をサーモスタットの調節範囲内で好きな水温に設定することが出来ます。
◆サーモヒーターとは、ヒーターとサーモスタットが一体になったもので、ヒーター本体に温度感知センサーが内蔵されており、設定した水温より水温が低い場合は、ヒーターを加熱させ設定した水温になるようにコントロールするものです。
◆オートヒーターとは、ヒーター本体に温度感知センサーが内蔵されており、設定されている水温になるようにコントロールするものです。（オートヒーターは定温型ですので設定されている水温よりも水温を上げたり、下げたりすることは出来ません。）

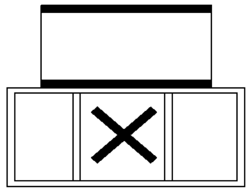
⚠ 保温器具は冬場など水温の低い場合に、水温を上げることは出来ますが、夏場など自然に水温が上昇することに対し、水温を下げることは出来ません。

○設置場所の選定

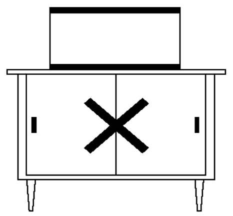
フェイス適合水槽台	60cm水槽用水槽台各種（スリムラックを除く）

水槽は必ず当社水槽専用台に設置しましょう！

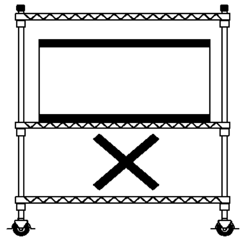
セットした水槽は予想以上に重たくなります。 水槽を設置する際は必ず当社水槽専用台をご使用ください。下駄箱、サイドボード、水槽専用台以外のラック、タンスなどの家具や出窓は水槽を置く構造になっておりませんので、水槽を設置されると台や水槽が歪み、水漏れや水槽の割れる原因となります。水槽の設置場所は、底面全体にかかる水槽の重量を水平でなおかつ全面で受け止める構造が理想です。安全のために当社水槽専用台をご使用ください。また、設置場所は直射日光の当らない風通しのよい静かな場所を選び、電化製品の近くや騒音のする場所は避けて設置してください。



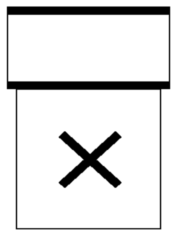
簡易ラック



家具、下駄箱、サイドボード、ラック、
出窓などの上、畳の上への直置きなど。



スチール製ワイヤーラック



水槽より少しでも
（前後左右）小さい台。

●フェイスを壁際に設置される際は、お手入れの際などに水が掛からない程度壁から離してください。
●水槽専用台を設置する場所は、水槽や水槽専用台の総重量に十分耐えられる強度のある場所に設置してください。

○こんなときは…

注意 **●ガラス面に深い傷を付けてしまった場合は、そのまま使用せず、お買い求めの販売店、または当社までご相談ください。そのまま使用されると水槽が割れる場合があります。**

●故障と思う前に、以下のことを確認してみてください。故障かなと思われることでも、正常に機能している場合もあります。

症　　状	考えられる原因	対策・処置
水が漏れているように思う。	●水温と周辺温度との差で、結露している。 ●特殊な貝や魚がシリコン部分をかじり、シリコン防水が効かなくなった。	○拭き取る。 ○使用を止め、水槽用シリコンで補修する。
吐出量がいつもと比較して少ない。	●水位が低すぎる。 ●パワーヘッドのインペラーやインペラーシャフトにゴミや砂が絡まっている。 ●ろ過材が目詰まりしている。 ●パワーヘッドを1年以上使用している。	○［最低水位線］より上になるように水を入れる。 ○掃除をする。（システムパワーヘッドS5のお手入れ参照） ○交換する。（フィルターのお手入れ&ろ過材の交換参照） ○パワーヘッドを交換する。（システムパワーヘッドS5）
パワーヘッドが動かない。	●電源プラグがコンセントから抜けている。 ●パワーヘッドのインペラーやインペラーシャフトにゴミや砂が絡まっている。	○電源プラグを差し込む。 ○掃除をする。（システムパワーヘッドS5のお手入れ参照）
パワーヘッドから異音がする。また、水が揚がらない。	●水位が低すぎる。 ●パワーヘッド内に空気がたまっている。 ●パワーヘッドのインペラーやインペラーシャフトにゴミや砂が絡まっている。 ●パワーヘッドのインペラーシャフトが摩耗している。 ●パワーヘッドを1年以上使用している。	○［最低水位線］より上になるように水を入れる。 ○電源プラグを一度抜き、差し込む。 ○掃除をする。（システムパワーヘッドS5のお手入れ参照） ○パワーヘッドを交換する。（システムパワーヘッドS5） ○パワーヘッドを交換する。（システムパワーヘッドS5）
照明が点灯しない。	●電源プラグがコンセントから抜けている。 ●スイッチがONになっていない。 ●蛍光ランプがきれている。 ●蛍光ランプがゆるんでいる。 ●フェイス専用ライトの故障。	○電源プラグを差し込む。 ○スイッチを入れる。 ○交換する。（蛍光ランプの交換参照） ○締め直す。 ○交換する。
照明がチラつく。または点灯するまで時間がかかる。	●蛍光ランプの寿命が近付いた。（インバータ蛍光ランプは、点灯直後は暗く、約30秒で明るくなります。また、点灯後、約20分間は明るさや光色が若干変化します。） ●タコ足配線になって電圧が下がっている。	○交換する。（蛍光ランプの交換参照） ○タコ足配線を止める。
ライトを手で触ると温かく感じる。	●照明が熱源となって、ライト全体が温かくなります。 （いつもと比較して特に熱いときは、ご使用を止めてお買い求めの販売店までご連絡ください。）	

●適切な処置を行っても症状が改善されないときや同じ症状が再発する場合、または上記以外の症状が生じたり原因がわからないときは、ご使用を止めてお買い求めの販売店、または当社までご連絡ください。

○仕　様

本　　体	寸法：幅500mm×奥行き280mm×高さ350mm（セット時：高さ505mm）　水容量：23L
照　　明	インバータ14W蛍光ランプ　電源：AC100V　50／60Hz　定格消費電力：14W　入力コンセント容量：400W
循環ポンプ	システムパワーヘッドS5　電源：AC100V　50／60Hz　定格消費電力：3.9／3.7W　最大吐出量5.0L／min
ろ過装置	水中フィルターポンプ（専用活性炭マット＋専用ろ過材）＋底面フィルター

○オプション

交換ろ過材	フェイス専用活性炭マット（FF-01）／フェイス専用ろ過材（FF-02）
交換ランプ	スカイライトフリー交換ランプ14W（標準装備）／交換ランプブルーホワイト
サーモヒーター	ICサーモヒーターAT-10X
サーモスタット	パワーサーモET-30／ET-30S
ヒーター	75W～100W

フェイス保証書

SAMPLE

●お買い上げいただいた日から、淡水でご使用の場合は1年間を保証期間、海水または人工海水でご使用の場合は6ヵ月を保証期間とし、この期間内に当社専用キャビネットをご使用いただいた上で正常な使用状態において故障及び損傷が発生した場合は、本保証書の記載内容にもとづいて無償修理いたします。なお、ろ材の汚れ、消耗部品の磨耗、お客様の過失による製品の割れや水漏れ、および傷は対象外になります。

●保証期間終了後、および保証期間内であっても、以下の場合は保証いたしません。
1. 誤った組み立て、取り付けによる故障、および損傷。
2. ご使用上の不注意、過失による故障、および損傷。
3. 不当な修理や改造による故障、および損傷。
4. 日常の点検、お手入れの不備による故障、および損傷。
5. 砂や異物の吸い込みによる故障、および損傷。
6. 家庭以外（船舶や車両などへの搭載）で使用されたことによる故障、および損傷。
7. 屋外で使用したことによる故障、および損傷。
8. 観賞魚の飼育以外の目的で使用したことによる故障、および損傷。
9. 異常水質による故障、および損傷。
10. ステンレスシャフトなどを侵すケミカル剤および砂利を使用した場合の故障および損傷。
11. 観賞魚用薬品以外の薬品を入れたことによる故障および、損傷。
12. 指定以外の電源（電圧、周波数）による故障、および損傷。
13. 火災、地震、水害、公害、落雷など、その他天災地変による故障、および損傷。
14. 魚類など生物の死亡や病気、および水草の枯れ。
15. 本保証書の提示がない場合。
16. 本保証書にお客様名、お買い上げ日、販売店名の記入がない場合。
17. 本保証書の字句を書き換えられた場合。

●本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。
●保証修理をお受けになるときは、お買い求めの販売店、または当社までご連絡ください。
●保証修理をお受けになるときは、本保証書を提示してください。
●保証期間終了後の修理につきましては、お買い求めの販売店、または当社までご連絡ください。
●本保証書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in JAPAN.

・この保証書は、明示した期間、条件において無償修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

KOTOBUKI 生活ロマンを創造する
コトブキ工芸株式会社

■本　　社　〒580-0043　大阪府松原市阿保２丁目122-4
Tel.（072）333-2208　Fax.（072）333-0369

本書の記載内容の一部または全部を、無断転載することはかたくお断りします。
All Rights Reserved, Copyright © 2005 Kotobuki Kogei Co., Ltd.
200505②
000305